

# 山梨スマートドライバー

## 第6回ミーティング

### 2014.8.20(水)

レポート

「譲り合い道路」の  
標識をデザインする



くるまと  
標識



2014年8月20日、山梨県立図書館で、約10人の参加者を迎えて、山梨スマートドライバーの第6回ミーティングを行いました。今回のテーマは「くるまと標識」です。世界中の道路標識を学び、「譲り合い道路」に相応しい標識をみんなでデザインしました。身近な「標識」から、発想を広げて、スマートドライブを空想しました。

プレゼンター

BRANDING PRINT STUDIO  
**magic print**

代表／プランディングディレクター

網野 俊輔さん

Shunsuke Amino



山梨県甲府市生まれ。明治大学商学部卒業。大学在学中に、叔父であるグラフィックデザイナー山田拓矢氏の事務所でアシスタントとしてアルバイトをする。卒業後は山梨に戻り、有限会社オズプリントティングにてデザイナー勤務を希望するが、「まずは営業畠から」という理由で営業部に配属。8年間の営業経験を積む。その営業経験から「印刷物はただ情報を伝えるものではなく企業のブランド形成に役立つべき」という考えに至り、独立。山梨の特産品や加工品のブランディングに特化した印刷会社マジックプリントを設立。経営、マーケティング、デザインなど多角的な視点から本当に機能する印刷物づくりを目指す。

# 様々な表情見る世界の標識

## 言葉でなく、色、形で 道路の情報を伝える ユニバーサルデザイン

magic printの網野さんが標識一覧で解説をしてくれました。

「標識は信号と同じ配色で意味を表している」と網野さん。標識の色の緑は「進め」、黄色は「注意」、赤は「止まれ」の意味を含んでいます。また、黄色は明るい色で認識しやすく、「ゲゲゲの鬼太郎」のちゃんちゃんこは、遠くからでもよく目立つそうです。

世界の標識は、その国のお国柄を反映しています。国境近くにある親子を描いた標識(①)は、不法入国者が道路に飛び出すので、注意するように促しています。日本では見かけないデザインも見られ、動物や不審者への注意を促したものや、赤で囲んだ禁止を伝えるものにも、変わったデザインが見られます。また、ほのぼのとするような秀逸なデザインもることができます。(②、③、④)

標識は一瞬で、意味を認識しなければなりません。異国人でも分かるようなデザインが望されます。老若男女でも分かるという意味で、ユニバーサルデザインの代表例だといえます。



# 心がほつとするような 優しい標識デザインで ドライバーに安らぎを

## 「譲り合い道路」の標識をデザイン

次はみんなでスマートドライバーにふさわしい「譲り合い道路」の標識をデザインしました。

「譲る」という意味を込めて「譲」の文字を標識(①)にしたり、山梨県の運転マナーを向上するという意味を込めた標識(②)が提案されました。

道路の先が狭くなっていることに注意を促すような標識(③)や道を譲ってくれた車にハザードランプを転倒させることを促す(④)標識のデザイン案も。また、標識ではなく、道路上のレンズを自動車、歩行者、自転車と色分けしたら、走りやすいのでは、という提案(⑥)も出ました。

車にハートマークをあしらった標識(⑦)や、ハートをシンプルに使った標識(⑧)の可愛らしいデザインも。スマートドライバーの頭文字「SD」をスマイルマークで囲んだ標識(⑨)が、道路にたくさん並んだら楽しいという提案や、夏にひんやりするお化けの標識(⑩)も提案されました。

参加者の「譲り合う」気持ちが道路標識に表現されました。



# 最後に、参加者全員で記念撮影



山梨スマートドライバーの第6回ミーティングに集まって頂いた皆様、ありがとうございました。網野さんが紹介して頂いた世界の道路標識を参考に、それぞれの思いが込められた「譲り合い道路」の標識デザインがそろいました。新たな気づきを促すような標識デザインもありました。いつも山梨スマートドライバーを応援して頂いている皆様、ありがとうございます。「おもいやり」を増やすことで交通事故を減らす。これからも山梨スマートドライバーをよろしくお願いします。



ご参加、ありがとうございました。

